

戊辰戦争 1

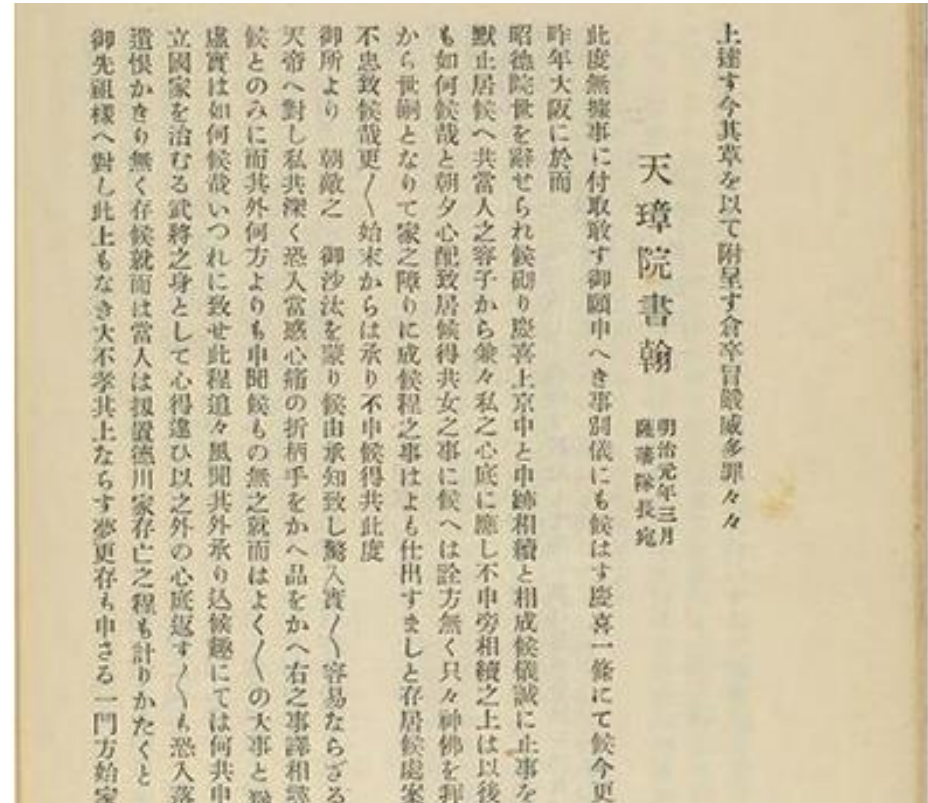
1868年1月、大政奉還後の徳川慶喜(とくがわよしのぶ)への処遇に不満の旧幕府軍が新政府軍と京都で衝突。「鳥羽・伏見の戦い」(とば・ふしみのたたかい)に始まる戊辰戦争(ぼしんせんそう)は1年半に及んだ。旧幕府軍の最高指揮官、徳川慶喜(とくがわよしのぶ)が大阪城を抜け、軍艦で江戸に向かったことで、旧幕府軍は総崩れとなった。



戊辰戦争関連地図

戊辰戦争 2

新政府軍が江戸城に迫ると、13代将軍徳川家定(とくがわいえさだ)の正室篤姫(あつひめ)(天璋院(てんしょういん))は、14代将軍徳川家茂(とくがわいえもち)の正室和宮(かずのみや)(静寛院(せいかんいん))と協力して、徳川家の存続を働きかける。

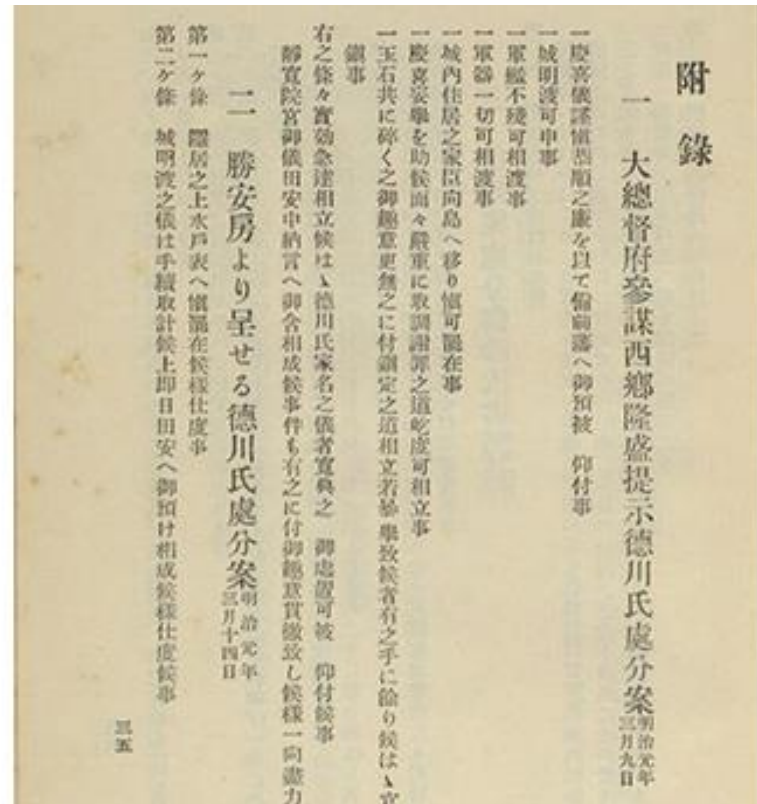


『江戸開城記念展覧会陳列目録』江戸開城記念展覧会
昭和3(1928)【549-425】

p.30「天璋院書翰 明治元年三月薩藩隊長宛」

戊辰戦争 3

新政府軍による江戸城総攻撃は、勝海舟(かつかいしゅう)と西郷隆盛(さいごうたかもり)との話し合いにより中止となり、江戸城は「無血開城」となる。



戊辰戦争 4

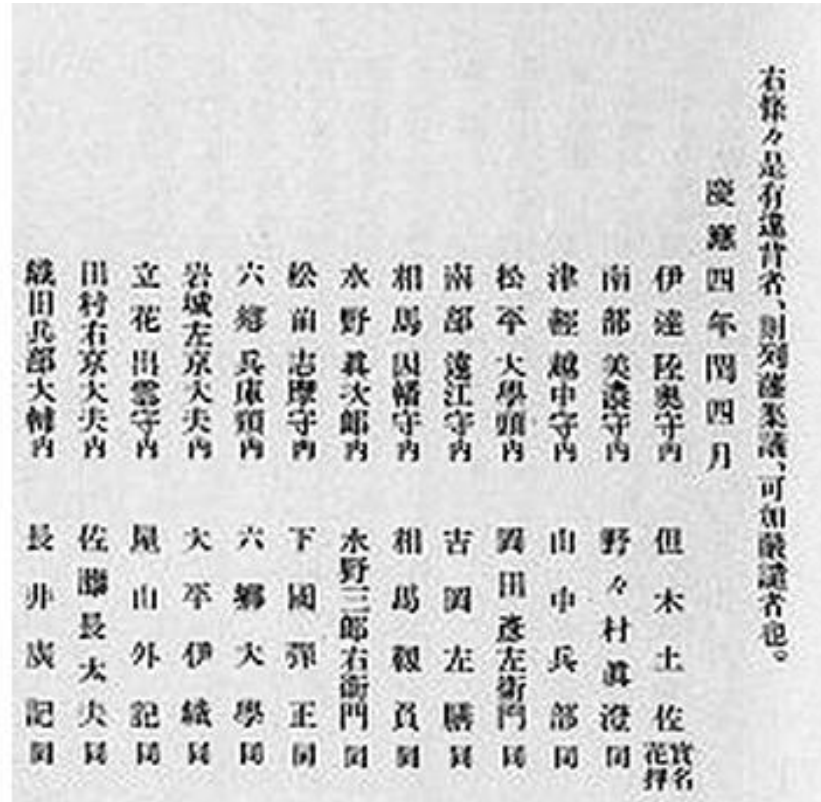
上野寛永寺(かんえいじ)に謹慎する徳川慶喜を守る「彰義隊」(しょうぎたい)が結成され、上野戦争が起きたが、新政府軍の大村益次郎(おおむらますじろう)などにより一日で鎮められた。



永島芳虎 永島孟斎『東台大戦争図』えひすや
明治7(1874)【寄別7-3-1-4】

戊辰戦争 5

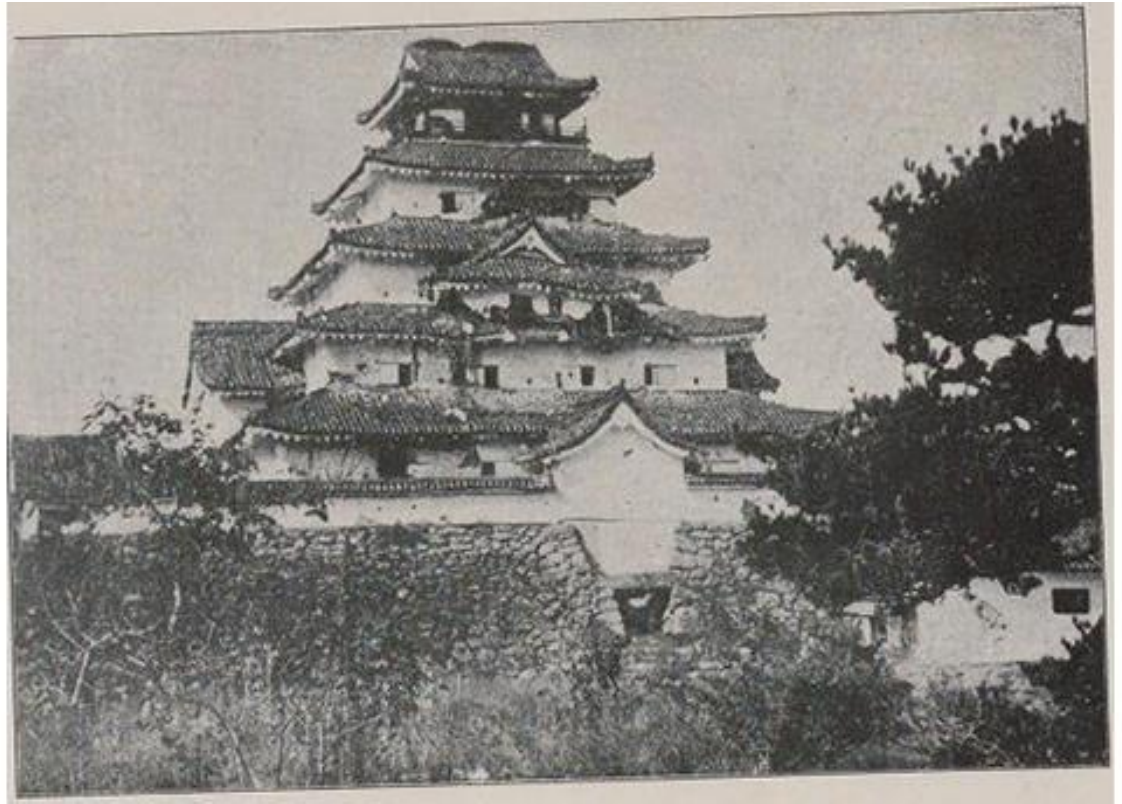
会津藩を討とうとする新政府軍に対抗して、東北諸藩は奥羽列藩同盟(おううれっぱんどうめい)を結び、新政府軍と戦うことになる。中立を唱えていた長岡藩も奥羽越列藩同盟(おううえつれっぱんどうめい)に加わり、新政府軍と戦った。



太政官編『復古記』第四冊 内外書籍
昭和4-6 (1929-1931) 【14.9-11】

戊辰戦争 6

会津若松城(鶴ヶ城)の煙を落城と見た会津藩の少年藩士白虎隊(びゃっこたい)は、自害してしまう。会津藩もついに降伏。



会津戊辰戦史編纂会編『会津戊辰戦史』井田書店
昭和16(1941)【640-80イ】

戊辰戦争 7

新政府軍の箱館(函館)総攻撃に、旧幕府軍は海軍副総裁の榎本武揚(えのもとたけあき)や新撰組の土方歳三(ひじかたとしぞう)らが五稜郭(ごりょうかく)を本拠に戦うが敗れ、戊辰戦争(ぼしんせんそう)は終結。



榎本武揚



土方歳三